

エコアクション 21

2010 年度

環境活動レポート

(2010年6月～2011年5月)

株式会社MKエレクトロニクス

社長	EA21責任者
・	・
	

【目次】

表紙	1
目次	2
1. 事業概要	3
1) 事業者名及び代表者名	3
2) 所在地	3
3) 責任者及び事務局	3
4) 連絡先	3
5) 事業活動の内容	3
6) 適用事業範囲	3
7) 事業規模	3
8) 事業の沿革	4
2. 環境方針	5
3. 環境目標	6
4. 主要な環境活動計画の内容	6
5. 環境活動の実績及び取組結果の評価	7
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8
7. 社長による全体の評価と見直し	9

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 MKエレクトロニクス
代表取締役社長 齊藤 和明

2) 所在地

〒310 - 0903
茨城県 水戸市 堀町 1165-94

3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21 責任者及び事務局 : 営業第1グループ 統括 宮本 良則

4) 連絡先

TEL : 029-254-6104
FAX : 029-252-1498
E mail: miyamoto@mk-ele.co.jp
URL : <http://www.mk-ele.co.jp>

5) 事業活動の内容

ケーブル加工機を始めとする省力機器の設計、販売及び電子部品全般の販売

6) 適用事業範囲

適用事業場の所在地と主要業務内容は以下の通り

本社: 茨城県 水戸市 堀町1165 - 94
社内全般の管理業務及び営業活動

7) 事業規模

項目	単位	2008年	2009年	2010年
主要製品販売量	t	1.65	0.64	2.42
売上高	百万円	377	345	420
従業員数	人	9	10	11
床面積	m ²	408.8	408.8	408.8
敷地面積	m ²	1160.1	1160.1	1160.1

8) 事業の沿革

昭和 63 年	7 月	ソフトウェアの開発、及び省力機器の販売を主として設立 「株式会社 水戸企画」
	9 月	電子機器全般のパーツ販売開始 (特に製造中止品パーツの取扱)
平成元年	1 月	省力機器販売体制の確立、及び販売開始
平成 5 年	4 月	事務所増築 (第 1 次)
平成 6 年	6 月	業務拡張に付き社名変更 「株式会社 MKエレクトロニクス」
平成 8 年	1 月	新型ケーブルストリッパー「CS - 100型シリーズ」 販売開始
平成 9 年	12 月	事務所増築 (第 2 次)
平成 10 年	2 月	新型ケーブルストリッパー「OTS50シリーズ」 販売開始
平成 11 年	3 月	新社屋完成
	5 月	ホームページ開設
平成 13 年	5 月	新型ケーブルストリッパー「OTS50X」 販売開始
平成 15 年	1 月	新型ケーブルストリッパー「RSK630」 販売開始
	2 月	自動指紋認証式保管庫 「Sea-Mon-Key シリーズ」 販売開始
平成 16 年	5 月	ケーブルストリッパー「OTS50XP」 販売開始
平成 17 年	1 月	新シリーズ ケーブルストリッパー「ITS50X」・「ITS50XP」 販売開始 新シリーズ 切断機 デジタルカッタ「ZKC-25」・「ZKC-25T」 取扱販売開始
平成 18 年	1 月	ハンドケーブルストリッパー「MKHT630」 販売開始
	12 月	事務所増築 (第 3 次)
平成 19 年	12 月	新シリーズ ケーブルストリッパー「MKS30X」・「MKS30XP」 販売開始
	1 月	新シリーズ ケーブルストリッパー「MKS50X」・「MKS50XP」 販売開始
平成 20 年	2 月	エコアクション 21 認証取得
平成 21 年	1 月	平角線エナメル剥離装置「MKEN - 100」 販売開始

環境方針

株式会社MKエレクトロニクスは、創業精神の「顧客満足度を第一に考え、広く地域社会に貢献する」を基本にかけがえのない地球環境を守る為に、環境に配慮した事業活動につとめ、地域社会の環境保全に貢献します。

1. 当社は、ケーブル加工機を始めとする省力機器販売を中心とした事業を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
2. 各事業に関連する環境・その他の法規則を遵守すると共に、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 当社の事業活動全体に於いて環境に与える影響を削減する為、次の事項に対して優先的に取組みます。
 - ① エコドライブによる二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物の分別徹底による削減及びリサイクル化推進
 - ③ 作業全般の効率化による電力・水使用量の削減
 - ④ グリーン購入の実施
 - ⑤ 環境負荷の少ない自社製品の開発、販売に努める
4. 廃棄物の発生抑制・適正処理に努め、循環型社会の実現に貢献します。
5. 地域社会との融和を図り、環境保全に貢献します。

この環境方針は当社全従業員に周知徹底させると共に、一般公開します。

2011年5月21日

株式会社MKエレクトロニクス

代表取締役 齊藤 和明



3. 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。尚、目標設定の基準は2009年度のデータを使用しております。

本年度より、売上100万円あたりの原単位で比較しております。

No	取組み項目	環 境 目 標			
		2009年度基準値と単位	2010年度	2011年度	2012年度
1	電力使用量の削減 (CO ₂ の削減)	購入電力 1,985kWh (CO ₂ 排出量:643Kg)	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
2	燃料使用量の削減 (CO ₂ の削減)	ガソリン使用量 301.3L (CO ₂ 排出量:700Kg)	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
3	廃棄物削減	一般廃棄物量 19.44Kg	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
4	自社製品に関する環境配慮型への促進	実績ゼロ	随時、環境配慮型部品への変更に努力する	随時、環境配慮型部品への変更に努力する	随時、環境配慮型部品への変更に努力する
5	グリーン購入の促進	消耗品全般のエコ商品への切替終了	随時、エコ商品への変更に努力する	随時、エコ商品への変更に努力する	随時、エコ商品への変更に努力する
6	水資源使用量の削減	大家管理の為、上水使用量の把握はできない	上水使用量の把握はできないが、		節水に努力する
7	環境保全活動の実施	期2回(年4回)の実施	期2回(年4回)の実施	期2回(年4回)の実施	期2回(年4回)の実施

4. 主要な環境活動計画の内容

当社の事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の通りの活動を実施している。その達成状況や活動の実施状況を毎月のE A - 21委員会にてフォローしております。

- 1) 電力使用量の削減(担当責任者 営業3G 石川 典芳)
 - 未使用時の電灯消灯の徹底(昼休みの消灯等の実施)
 - 空調温度管理の徹底(暖房26度・冷房22度)
 - 空調クリーニングの定期実施(業者定期点検年1回実施)
 - 週1回一斉定時退勤の促進(毎週水曜日定時退社推進)
- 2) 燃料使用量の削減(担当責任者 営業2G 大堀 茂男)
 - アイドリングストップの徹底
 - 車輛の燃料使用量と走行距離のチェック(エコドライブ表での推進)
 - 「エコドライブのすすめ」を車両に提示
 - 定期点検の徹底(5000km毎以内の点検実施)
 - 低公害車への随時、切替を促進

- 3) 廃棄物の削減(担当責任者 営業1G 櫻村 まゆみ)
リサイクルの促進
分別徹底による廃棄物削減(金属・プラスチック・ビン・可燃物等の分別)
- 4) 自社製品に関する環境配慮型への促進(担当責任者 営業2G 黒木 智弘)
製品納入時、梱包箱の回収
使用部品を環境配慮型へ移行
- 5) グリーン購入の促進(担当責任者 総務部 高丸 明子)
エコ商品購入の促進(事務用品・用紙・梱包資材)
洗剤等、詰め替え可能な商品の購入
- 6) 水資源使用量の削減(担当責任者 営業1G 武藤 ゆかり)
節水シール等の表示
洗いおけの設置(食器類の洗浄)
- 7) 環境保全活動の実施(担当責任者 営業2G 石幡 寿絵)
会社周辺の美化活動(清掃の実施)

5. 環境活動の実績及び取組結果の評価

環境目標に対する活動実績及び達成状況は以下の通りです。

実績は、2010年度運用期間('10/06～'11/05)と、基準年度2009年度の同月の値と比較する。
(売上100万円あたりの原単位での比較)

1) 電力使用量の削減

取組項目	09年度(基準値)	10年度	達成状況	判定
電力使用量の削減 1%削減	購入電力 1,985KWh (Co ₂ 排出量:643Kg)	1,952KWh (Co ₂ 排出量 632Kg)	100% (Co ₂ 排出量:-11Kg)	

10年7、8月は昨年と同様に酷暑で使用量は増加したが、売上も増加。今年度から原単位にした為、数値は減少という結果となった。震災の影響でエアコン(省電力)を入れ換えた為、次年度の数値を期待する。

排出係数は、東京電力から平成22年12月発表の0.324 kg-CO₂/kWhを使用

2) 燃料使用量の削減

取組項目	09年度(基準値)	10年度	達成状況	判定
燃料使用量の削減 1%削減	ガソリン使用量 301.3L (Co ₂ 排出量:700Kg)	245.6L (Co ₂ 排出量:570Kg)	117% (Co ₂ 排出量:-130Kg)	

10/11に営業車(低燃費車両)を1台増車した為、燃料も増加傾向になる予想だったが、大震災の影響で一定期間の営業活動が出来ず、大幅減少となった。

3) 廃棄物の削減

取組項目	09年度(基準値)	10年度	達成状況	判定
廃棄物の削減 1%削減	一般廃棄物量 19.44Kg	16.79Kg	112%	

ごみの分別も定着し、一人一人のゴミを減らすという意識の表れである。

4) 自社製品に関する環境配慮型への促進

10年度実績として、2件。自社販売台数が伸びた為、古い在庫が無くなり、環境配慮型に切替できた。殆どの部品は切替済みなので、今後は、随時、環境配慮型部品への変更に努力する。

5) グリーン購入の促進

10 年度実績値ゼロ。消耗品全般のエコ商品への切替は終了しているので、今後は購入時にエコ商品を選択するよう努力する。

6) 水資源使用量の削減

水道使用量が大家さん管理のため使用量の把握が出来ないが、各流しに洗い桶を設置し節水を行っている。また、節水シール等で従業員に呼びかけを行い節水を徹底している。

7) 環境保全取組実施率の向上

取組項目	09年度(基準値)	10年度	達成状況	判定
環境保全活動の実施	2回/期 4回/年の実施	10/07、10 11/01、04月に実施	100%	

各月に会社周辺の清掃活動及び、会社駐車場の除草作業を実施しました。



6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下表の通りである。

主な適用法規	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・委託契約書の締結 ・マニフェストの管理 ・委託契約書の許可の確認 ・産業廃棄物管理票交付状況報告書提出の確認 	遵守確認済
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・新車及び車検時の支払い確認 	遵守確認済
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・保守点検表控えでの確認(大家管理の為) 	遵守確認済
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物として排出する場合は運搬する者等に適切に引渡し、料金の支払いに応じる 	遵守確認済
PCリサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物として排出する場合は運搬する者等に適切に引渡し、料金の支払いに応じる 	遵守確認済

環境関連法規違反はありませんでした。同様に関係機関からの指摘及び訴訟等もありませんでした。

7. 社長による全体の評価と見直し

見直し日時	2011年8月30日	場所	3F会議室
参加者	社長、営業2Gr 統括 大堀、EA21責任者 宮本		
インプット情報	情報内容・資料等	社長による指示事項	
環境への負荷の自己チェック結果	11/06/28 作成の環境への負荷の自己チェックシート及びまとめ表に基づき説明	指示事項は特になし	
環境への取組の自己チェック結果	11/06/28 作成の取組状況チェックシートで説明	省エネルギーの一環として、省エネエアコンを導入したので、効率よく活用して下さい。	
環境関連法規制等一覧表/遵守状況のチェック結果	11/06/30 作成の環境関連法規制等一覧/遵守状況のチェック結果表及び契約書、マニフェスト等で説明	指示事項は特になし	
環境目標の達成度	環境活動計画表及び'11/06/30 作成の環境目標/活動計画管理表で説明	東日本大震災、そして原発事故に伴う電力削減中(目標15%以上)なので、是非、燃料などCO2削減と共に電力削減目標を達成して下さい。	
環境活動計画の実施状況	環境活動計画表及び環境目標/活動計画管理表で説明	活動計画に基づいて引き続き実施下さい。	
教育・訓練実施結果	環境教育・訓練計画/実施結果で説明	環境教育勉強会を通して、日々のエコ活動を実施下さい。	
苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果	外部環境情報記録表で説明 苦情、クレーム等なし	指示事項は特になし	
緊急事態の準備及び訓練結果	現在、緊急事態に相当することがない為、書式のみ	指示事項は特になし	
問題点の是正・予防処置の状況	問題点の是正/予防処置報告書で説明	指示事項は特になし	
環境関連文書・記録の作成・整理状況(環境活動レポート含む)	環境文書9種類・環境記録10種類ファイリングで確認	指示事項は特になし	
指示事項等に対する決	環境方針	変更の必要なし(5/21に変更済み)	
	環境目標	変更の必要なし	
	環境活動計画	変更の必要なし	
	環境経営システム	変更の必要なし	

社長からのコメント

環境方針に基づいて、エコ活動が徹底し、継続している事に感謝致します。

大震災があり、ある意味エコ活動どころではないという時でも、各社員一人一人が強い活動意識を持ち持続していることが、活動結果として表れています。

これからも、その意識を持続させ、エコ活動を実施して行きましょう！！